

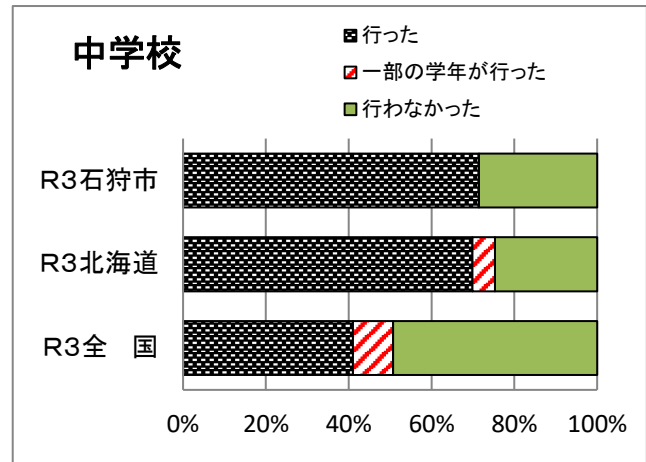
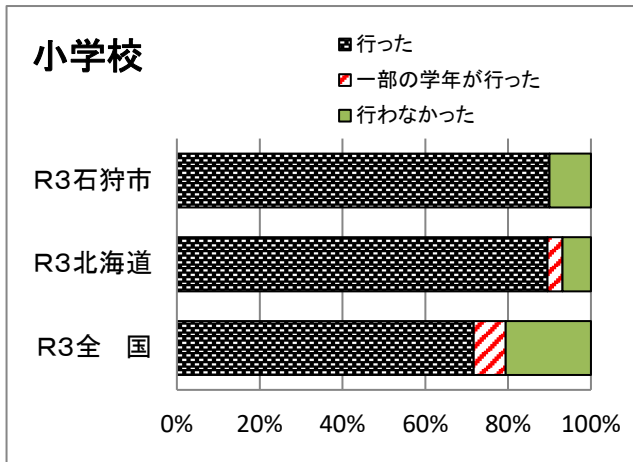
学校質問紙調査の結果

【令和3年度小・中学校】

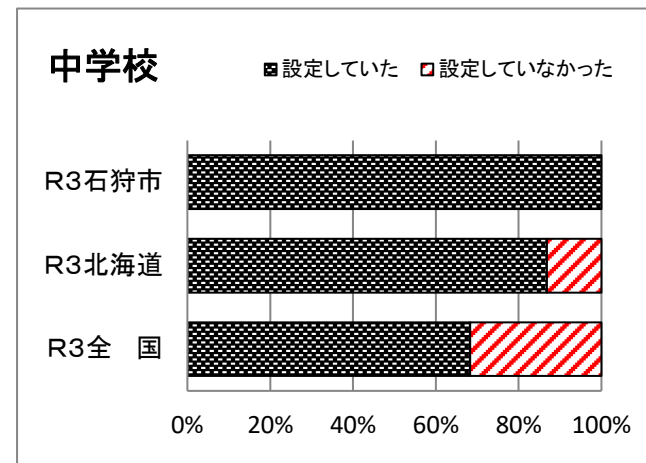
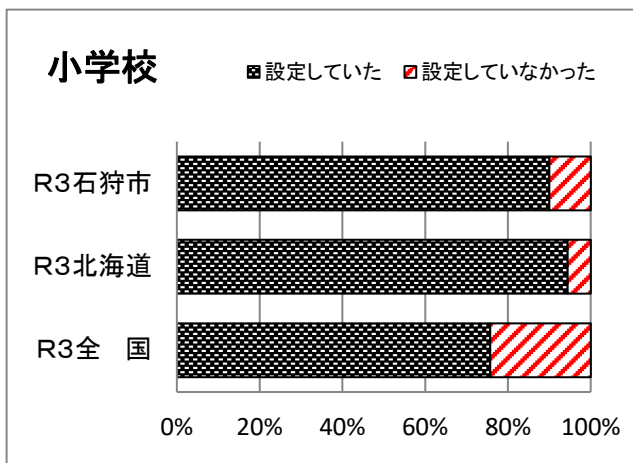
○ 体力・運動能力向上の取組

- ・【取組】学校全体で、体育(保健体育)授業以外で、体力・運動能力向上のための取組をしていた割合は、小学校・中学校ともに全国平均を上回っている。
- ・【目標設定】学校全体で体力・運動能力向上のための目標を設定していた割合は、小学校・中学校ともに全国平均を上回っている。
- ・【調査結果の活用】調査結果を踏まえた授業の工夫・改善を「行った」と回答した割合は、全国平均より高く、調査結果の活用が定着している。

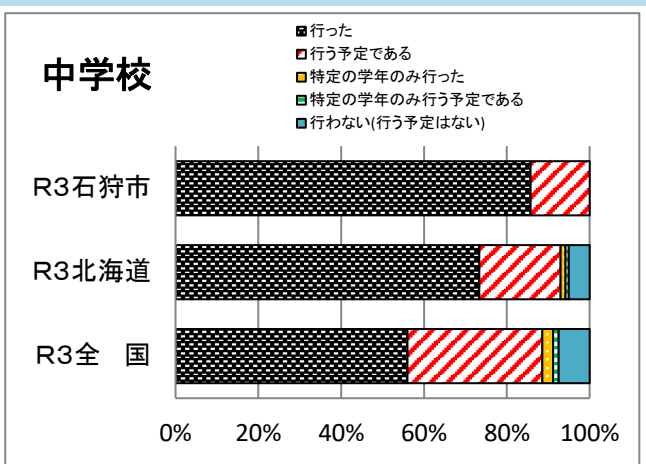
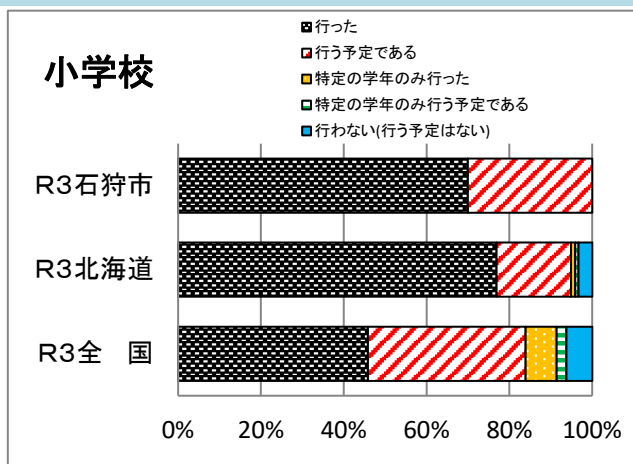
【体力・運動能力向上の取組】 前年度、体育・保健体育の授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行いましたか。



【目標設定】 前年度に、体力・運動能力向上のための学校全体の目標を設定していましたか。



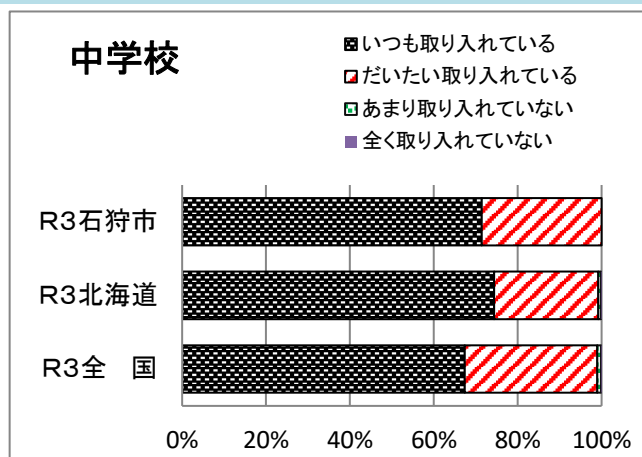
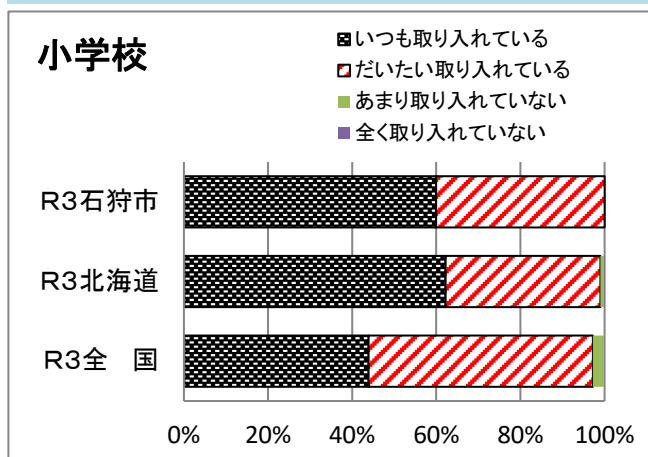
【調査結果の活用】 前年度の調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行いましたか。



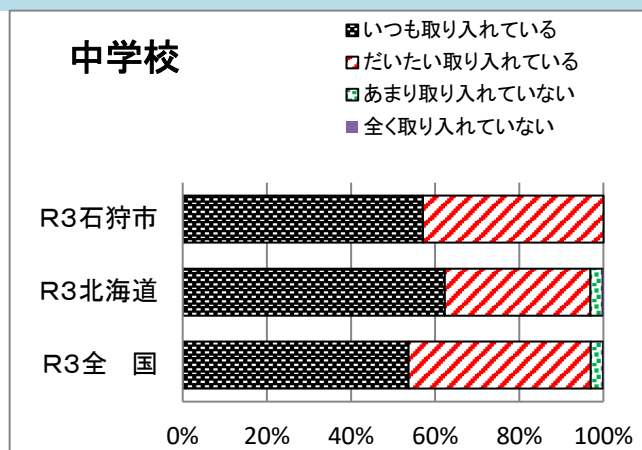
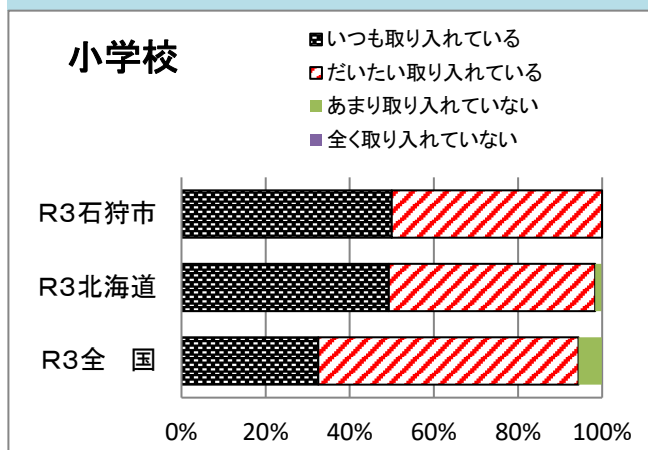
○ 体育・保健体育授業の工夫・改善の具体的な取組

- ・【授業目標】体育・保健体育授業の目標を児童生徒に示す活動を、「いつも取り入れている」割合は、小学校、中学校ともに全国平均を上回っている。
- ・【振り返り活動】体育・保健体育授業で学習したことを振り返る活動を、「いつも取り入れている」割合は小学校、中学校ともに全国平均を上回っている。
- ・【助け合い、役割活動】体育・保健体育授業で助け合い、役割を果たす活動を、「いつも取り入れている」割合は小学校で全国平均を上回っており、中学校では全国平均とほぼ同様である。
- ・【話し合い活動】体育・保健体育授業で話し合い活動を、「いつも取り入れている」割合は小学校、中学校ともに全国平均を上回っている。
- ・【ICTの活用】体育・保健体育授業でICTを活用は小学校、中学校ともに児童生徒の動きの撮影や以前と比較するため用いる割合が多い。

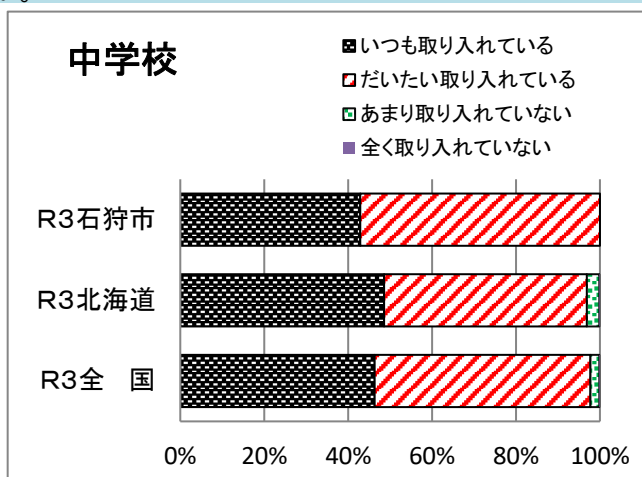
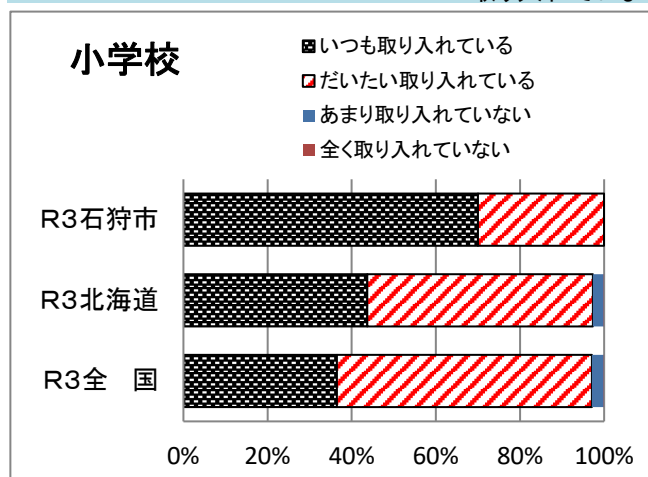
【授業の目標を示す活動】 体育・保健体育授業の冒頭で目標を児童生徒に示す活動を取り入れていますか。



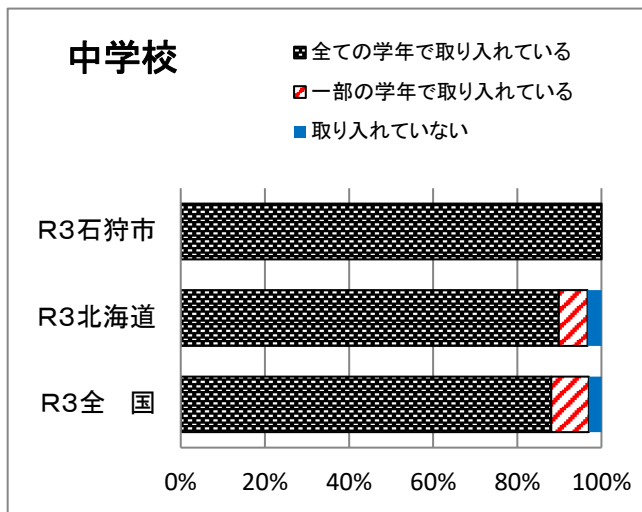
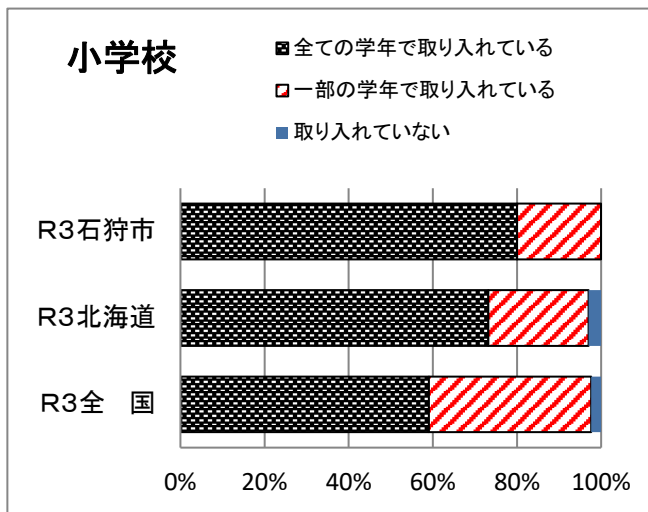
【学習を振り返る活動】 体育・保健体育授業の最後に、学習したことを振り返る活動を取り入れていますか。



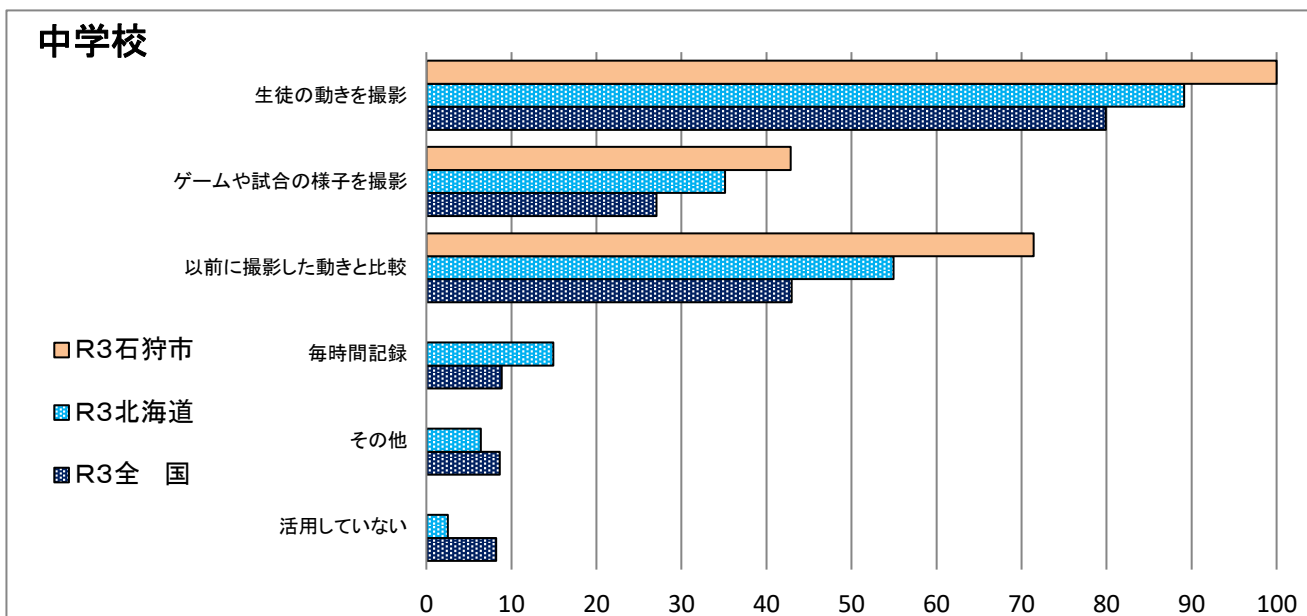
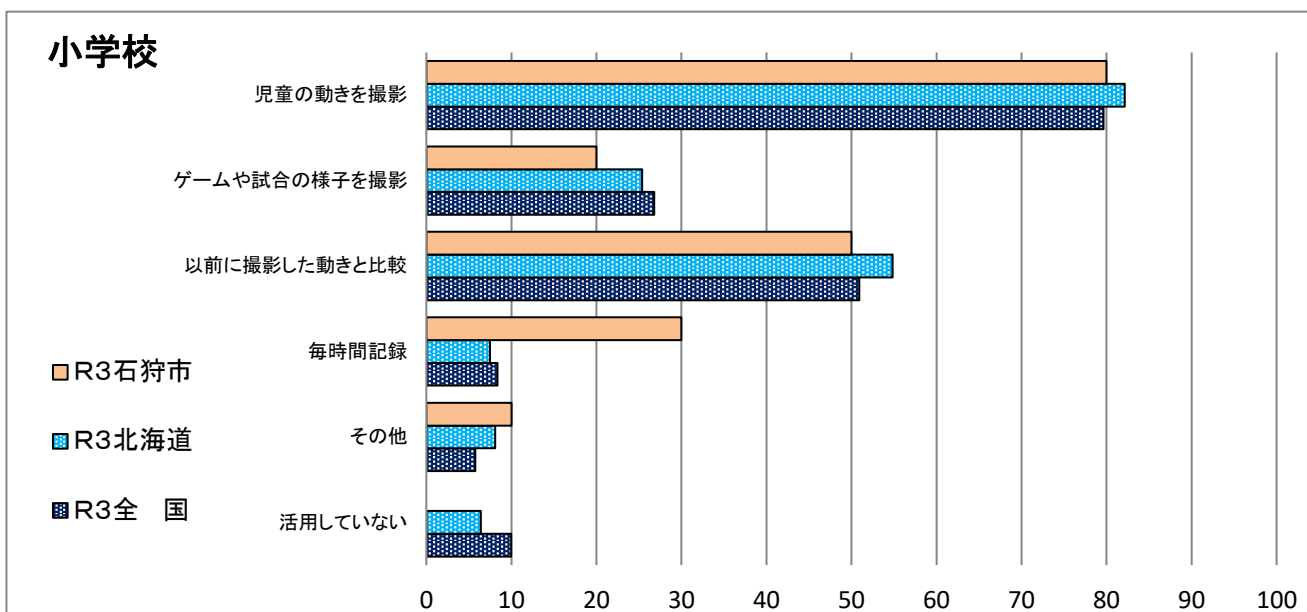
【助け合い、役割を果たす活動】 体育・保健体育授業で児童生徒同士が助け合い、役割を果たす活動を取り入れていますか。



【話し合い活動】 体育・保健体育授業での児童同士で話し合う活動を取り入れていますか。



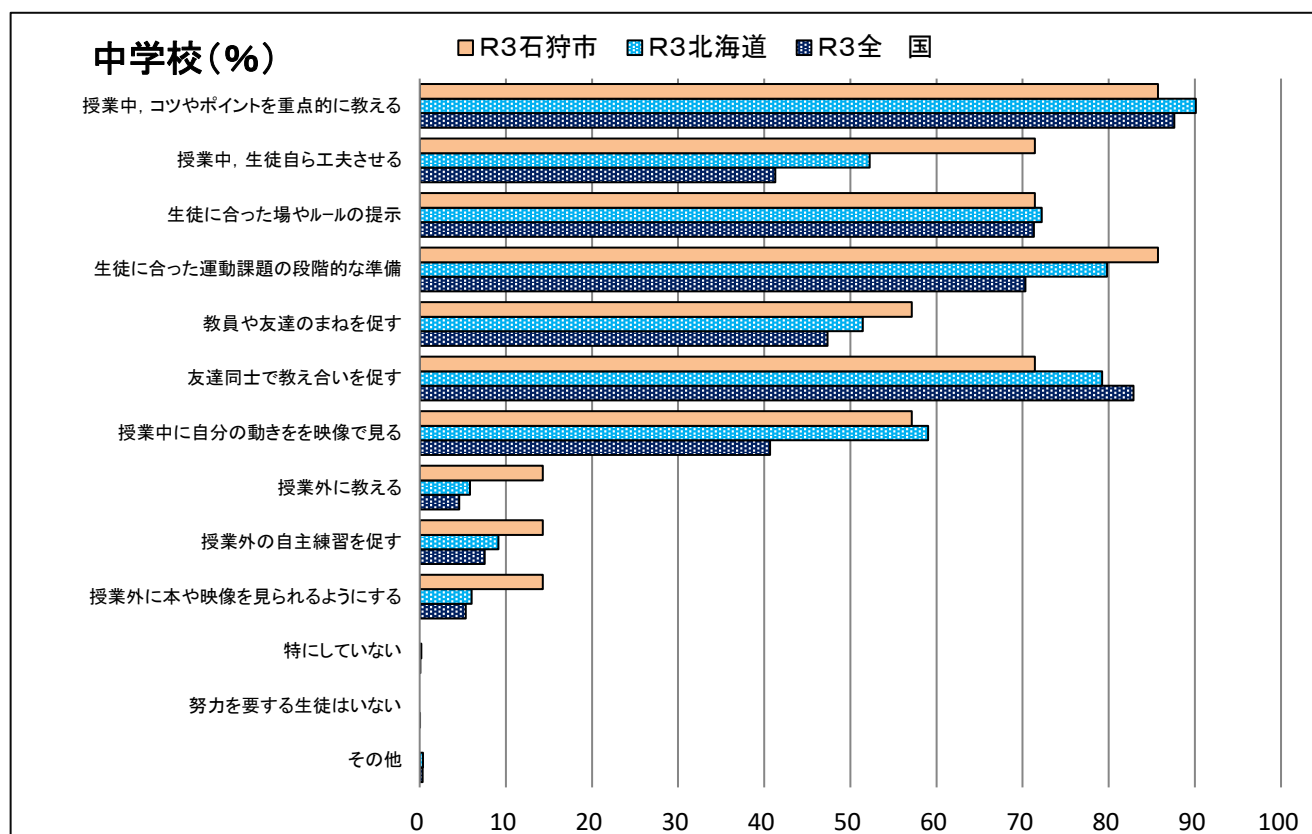
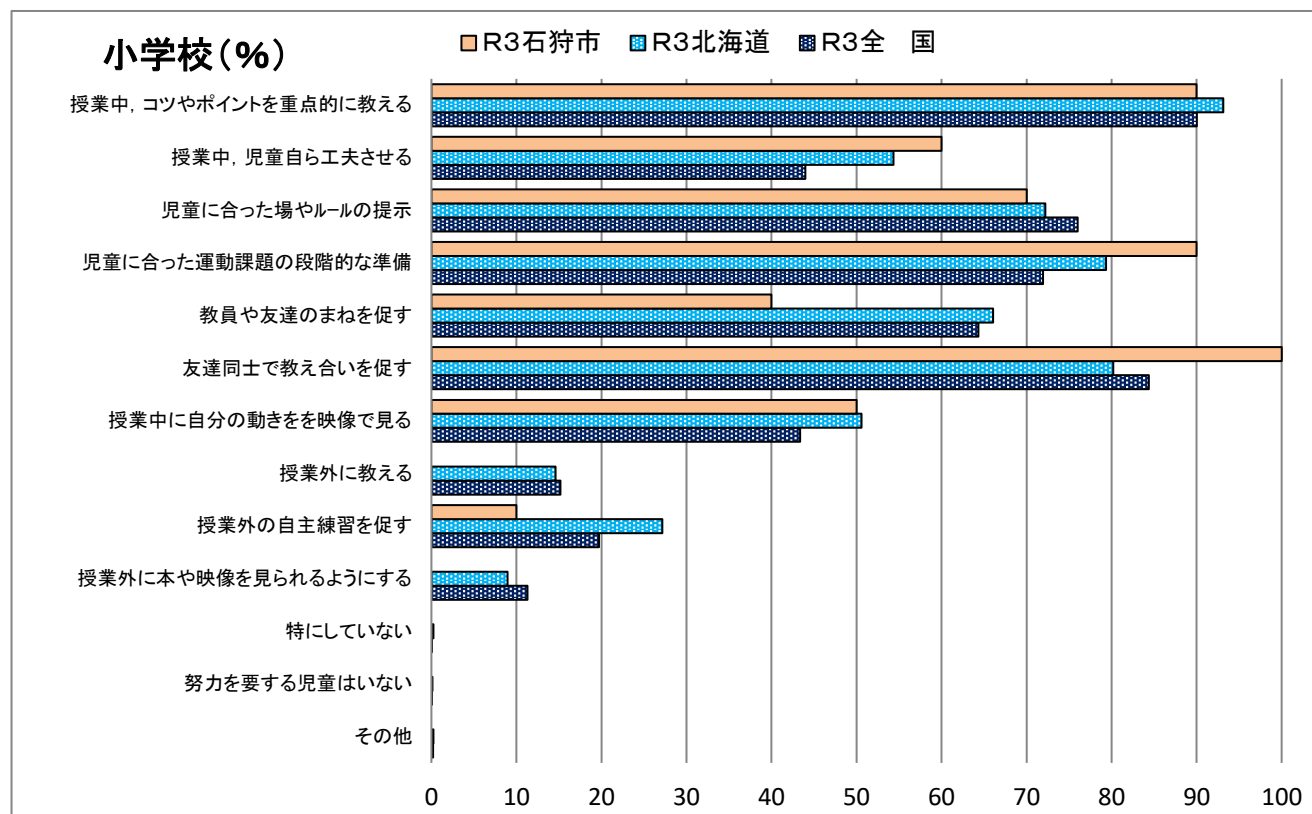
【ITCの活用】 体育・保健体育授業でITCをどのように活用していますか。



○ 努力を要する児童生徒に対する取組

・体育・保健体育授業で、努力を要する児童生徒に対する取組について、小学校では、「友達同士で教え合いを促す」「授業中、コツやポイントを重点的に教える」「児童に合った運動課題の段階的な準備」が多い。中学校では、「生徒に合った運動課題の段階的な準備」「友達同士で教え合いを促す」が多く、全国と同様の傾向を示している。

【努力を要する児童生徒に対する取組】 体育・保健体育授業で、努力を要する児童生徒に対してどのような取組をしていますか。 ※複数回答可(%)

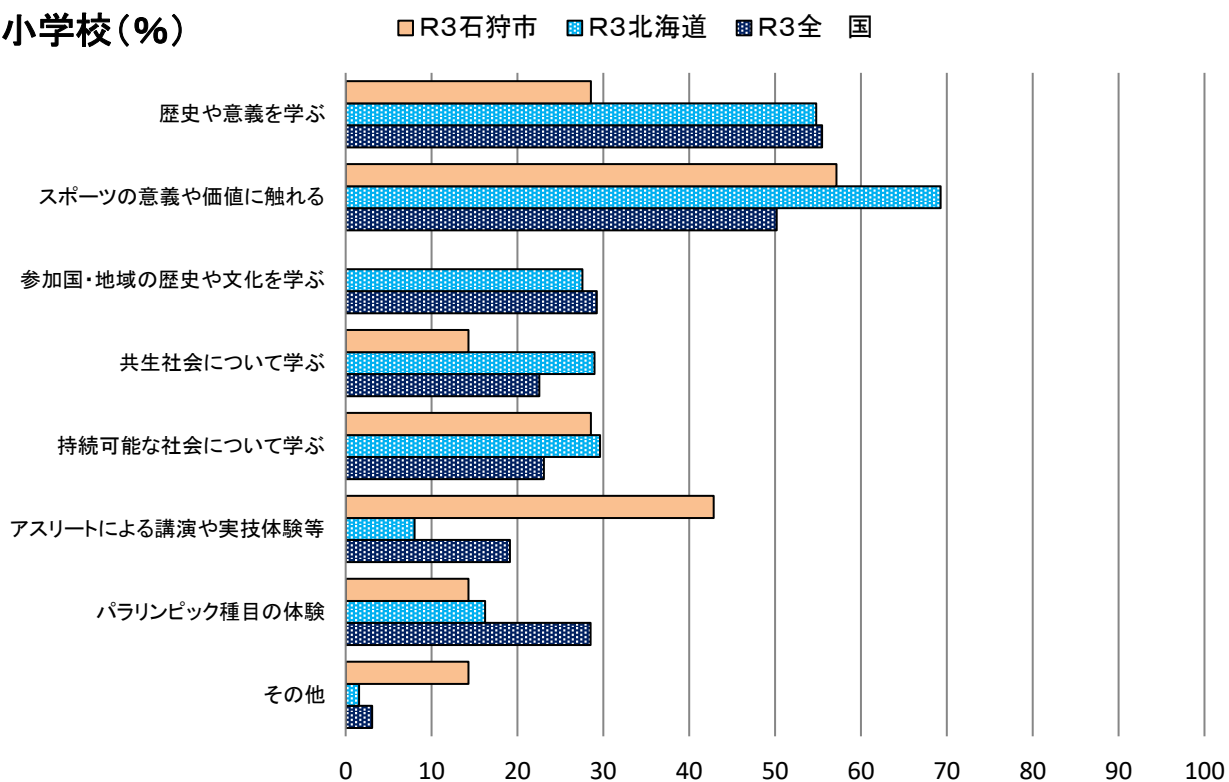


○ 学校における体育・保健体育授業以外の取組

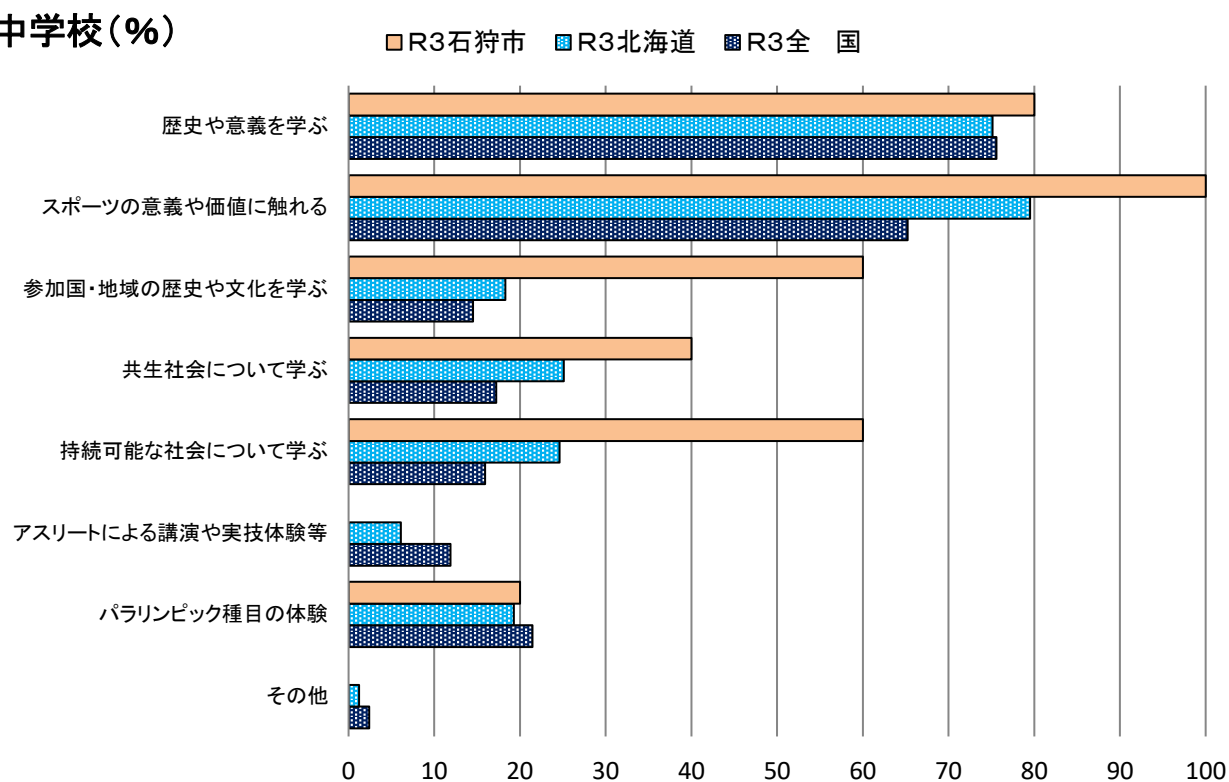
・学校における体育・保健体育授業以外で行ったオリンピック・パラリンピック教育の取組内容は小学校で「スポーツの意義や価値に触れる」「アスリートによる講演や実技体験等」が多く、中学校では「スポーツの意義や価値に触れる」「歴史や意義を学ぶ」「持続可能な社会について学ぶ」が多い。

【体育・保健体育授業以外の取組】 昨年度にオリンピック・パラリンピック教育に関して行った取組。※複数回答可(%)

小学校(%)



中学校(%)

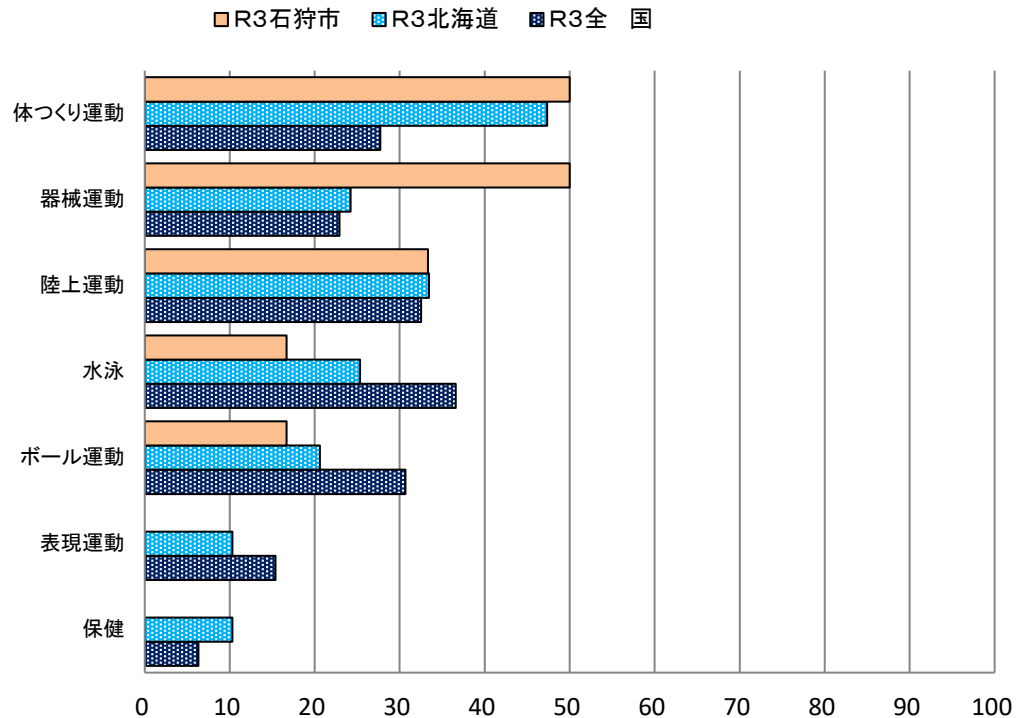


○ 外部人材の活用する取組

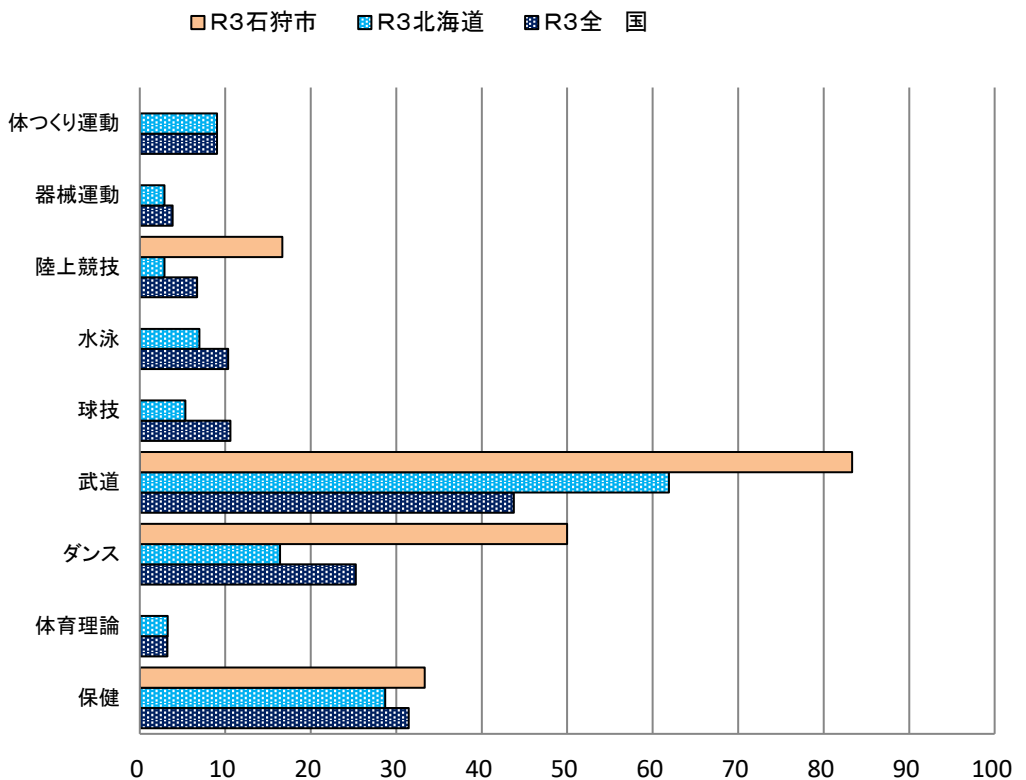
・体育・保健体育授業での外部人材の活用の場面(領域)について、小学校では「体づくり運動」「器械運動」が多く、全国平均を上回っている。中学校では、「武道」が圧倒的に多く、次いで「ダンス」となっており、全国平均を上回っている。

【外部人材の活用】 令和3年度の児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組において外部人材をどのような場面(領域)で活用していますか。※複数回答可(%)

小学校(%)



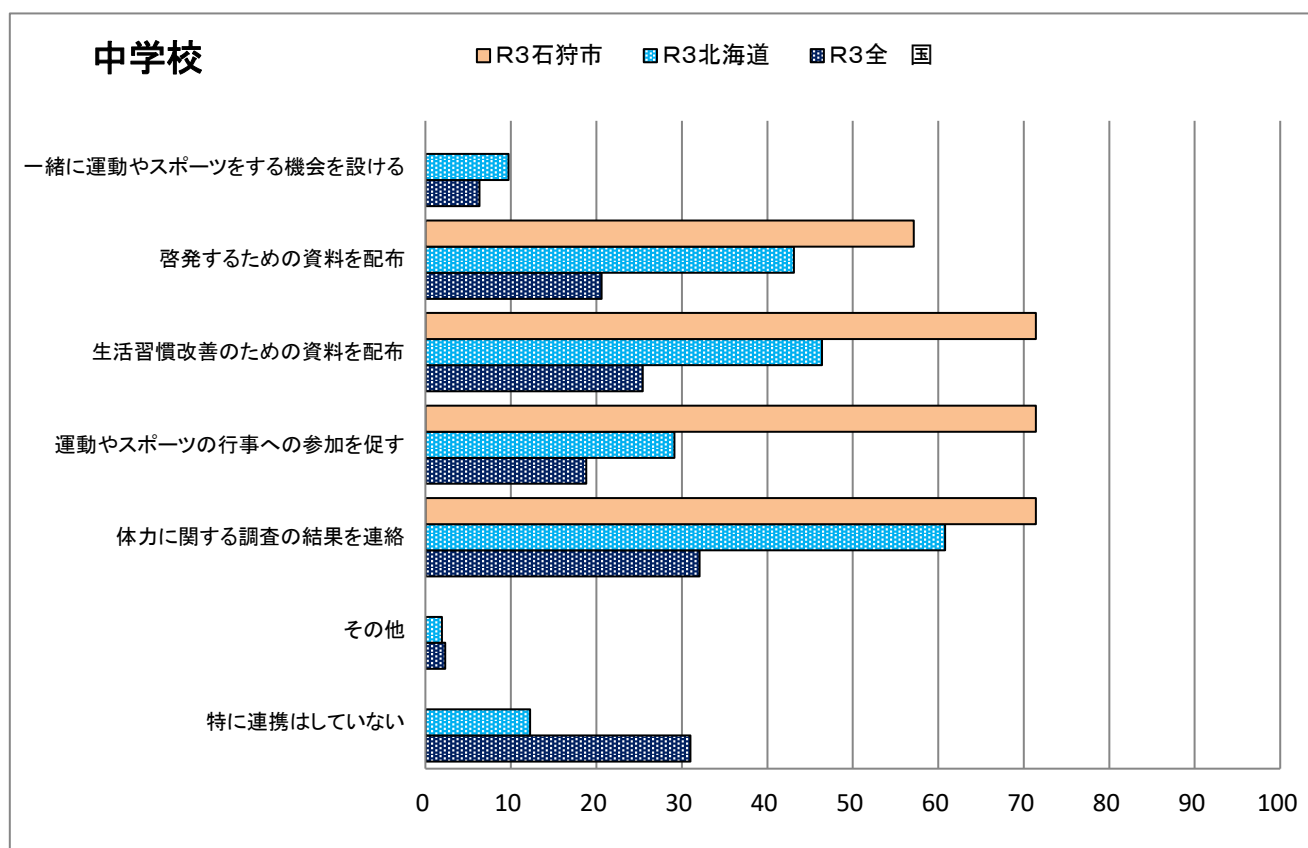
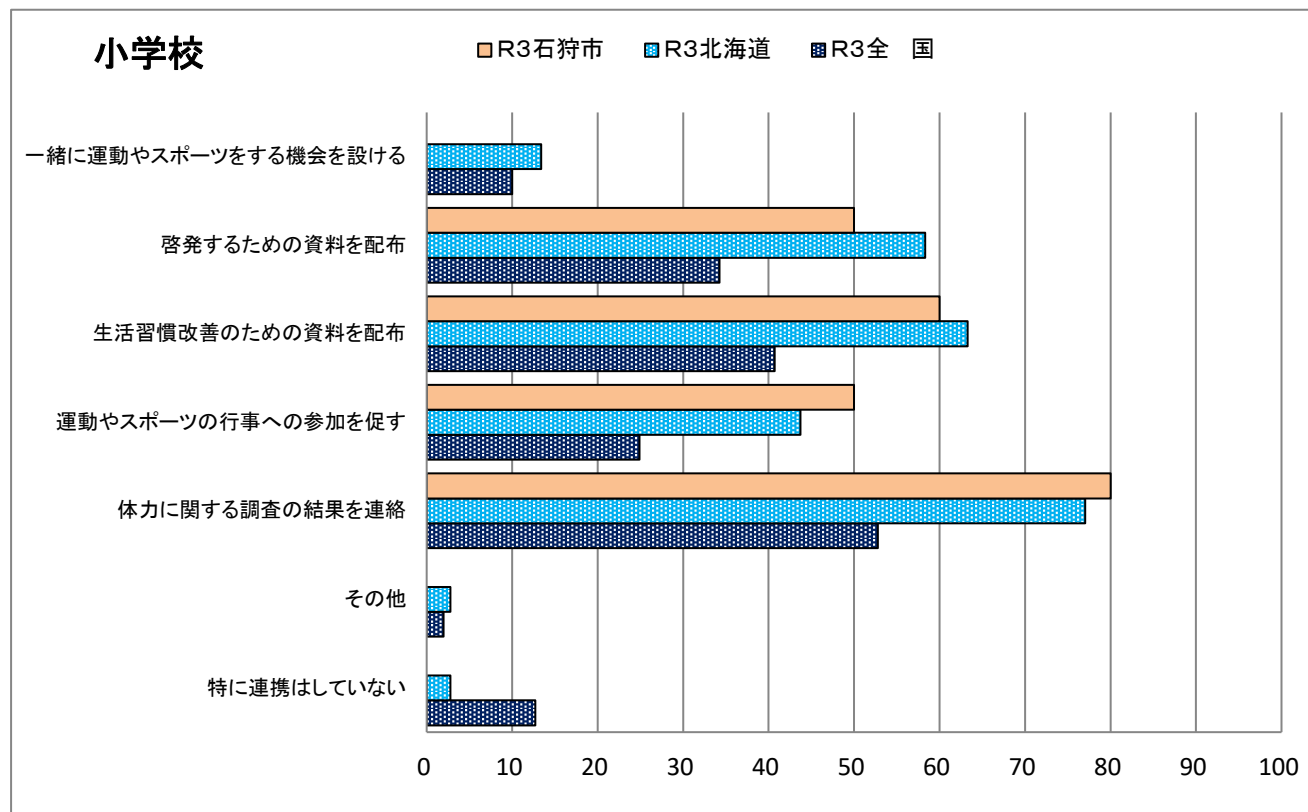
中学校(%)



○ 地域・家庭や関係機関との連携に関する取組

・運動やスポーツに関する家庭との連携については「体力に関する調査の結果を連絡」「生活習慣改善のための資料を配布」「運動やスポーツの行事への参加を促す」と回答した割合が、小学校・中学校ともに多い傾向にあり、全国を上回っている。

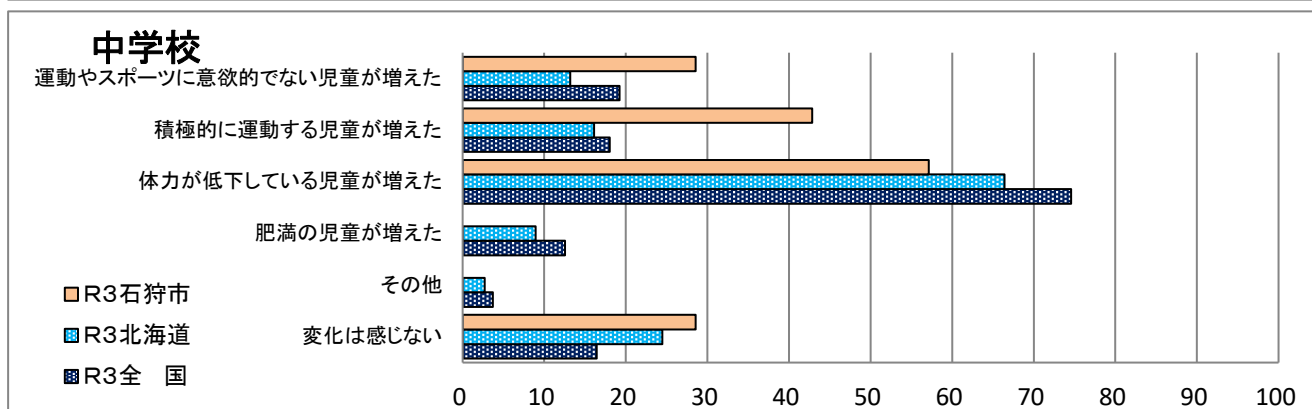
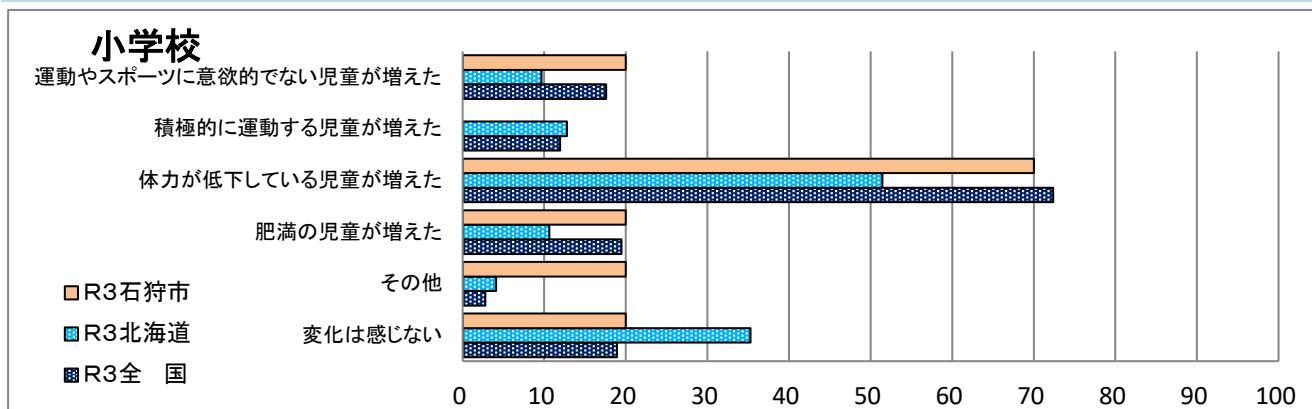
【家庭との連携】 運動やスポーツ、生徒の体力について、家庭とどのような連携をしていますか。(複数回答可)



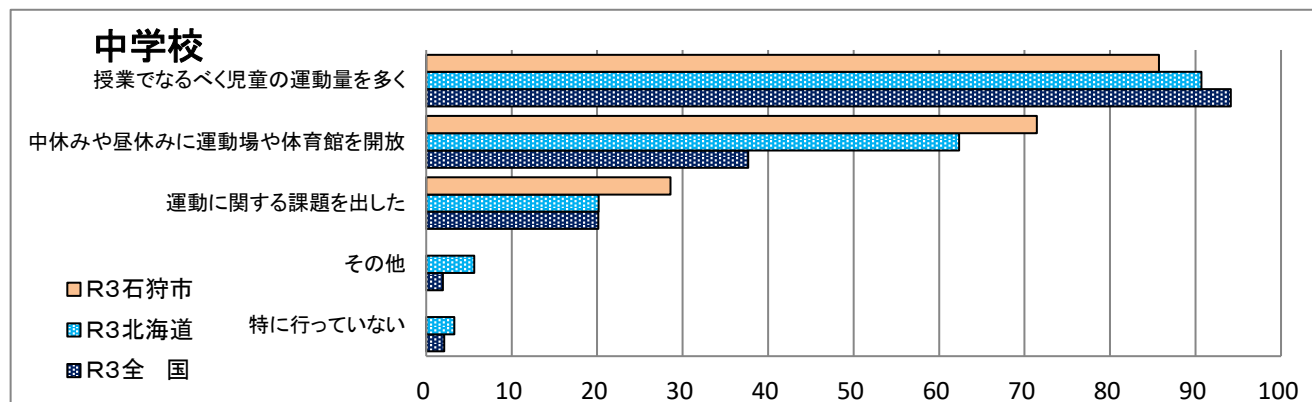
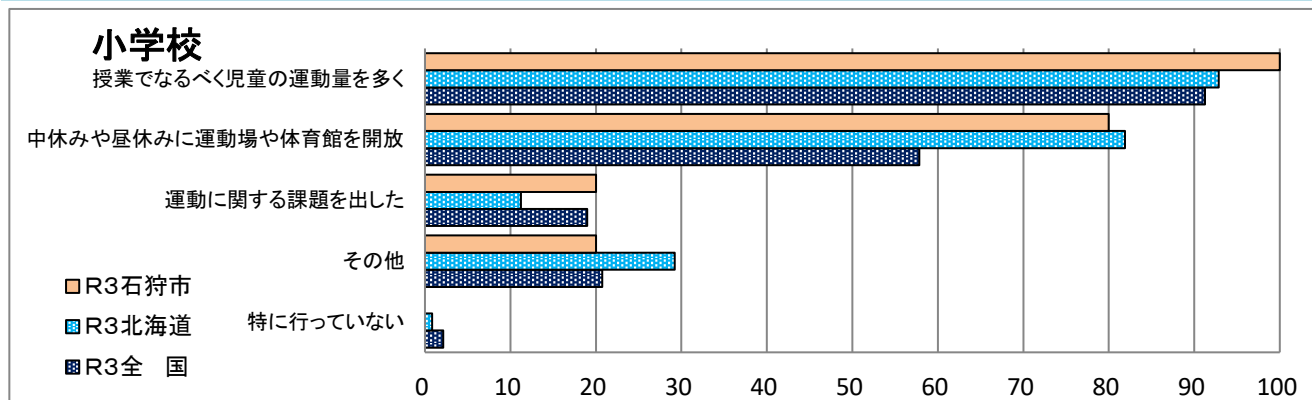
○ 新型コロナウイルス感染症流行の影響

・感染症流行によって、児童生徒の体力が低下したと感じている学校が多く、その対策として、「体育や保健体育の授業の中で運動量を増やすよう努めている」「中休みや昼休みに運動場や体育館を開放」と回答した学校の割合が、小学校・中学校ともに多い傾向にあり、全国と同様な傾向を示している。

【感染症流行の影響①】 新型コロナウイルス感染症の影響前(令和2年3月以前)と現在とを比較して、児童・生徒にどのような変化が生じたと感じますか。(複数回答可)



【感染症流行の影響②】 学校の全部を休業していた期間が終了した以降に、コロナウイルス感染症対策を講じつつ、生徒の体力向上や運動習慣確立のために、学校としてどのような取組を行いましたか。(複数回答可)



○ 新体カテストの実施状況

・石狩市は新体カテストを全ての学校・学年で全種目実施されている。

【石狩市における新体カテスト実施学年】

